

組織内“医療安全ネットワーク”の強化！

医療安全管理において、多職種の連携、特に部門間の情報伝達・情報共有の取り組みは、きわめて重要であり、実際、インシデント・アクシデント事例の発生原因として、職種間のコミュニケーションやチーム力などが関与していることが少なくない。

そこで今特集では、特に、薬剤、放射線、臨床検査、リハビリテーション、医療機器、食事・栄養、介護の7部門において、多職種の視点から、組織内の“医療安全ネットワーク”を強化する取り組みを紹介する。

また、各部門における“業務プロセス”および“場（環境）”の特徴をふまえ、そこで発生したインシデント・アクシデントの具体例を用いたリスクアセスメントトレーニングと未然防止の考え方、さらにチームとして活動する際のポイントや、リーダーシップ発揮に関する知見も加えて解説する。